

小児感染症の第30週(平成24年7月23日から平成24年7月29日)の集計結果

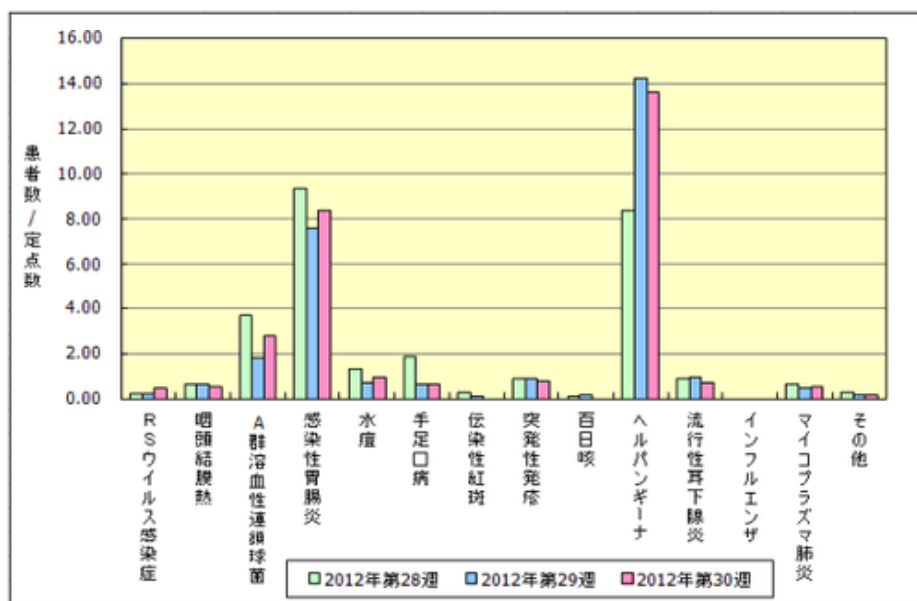
コメント

【今週の傾向】

- ヘルパンギーナが定点あたり13.6と先週に引き続き警報レベルとなっています。
ヘルパンギーナは、毎年6～8がつに流行する夏かぜの代表的な疾患です。
飛沫感染のため、手洗い・咳エチケット等を心がけて下さい。
- 都内において、風しんの患者数が急増しています。流行の中心は、予防接種歴がない又は確認できない30代の男性で、10代、20代の報告も増加しています。
飛沫により感染することから、外出後は手洗いやうがいをしっかり行いましょう。
また、予防接種が有効です。定期予防接種の対象年齢の方は期間内にお受けください。
また、妊娠の可能性のある方やそのご家族が予防接種を受けていない場合は、かかりつけ医への相談をおすすめします。

	2012年 第25週	2012年 第26週	2012年 第27週	2012年 第28週	2012年 第29週	2012年 第30週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
RSウイルス感染症	6 ↓	1 ↓	1 →	3 ↑	3 →	6 ↑	3	2	1	0
咽頭結膜熱	24 ↓	13 ↓	13 →	9 ↓	9 →	7 ↓	2	4	1	0
A群溶血性連鎖球菌	64 ↓	41 ↓	43 ↑	52 ↑	25 ↓	39 ↑	22	9	4	4
感染性胃腸炎	150 ↓	171 ↑	163 ↓	131 ↓	106 ↓	117 ↑	55	31	26	5
水痘	25 ↑	23 ↓	8 ↓	18 ↑	10 ↓	13 ↑	5	1	6	1
手足口病	12 ↑	6 ↓	6 →	26 ↑	9 ↓	9 →	3	2	4	0
伝染性紅斑	0 ↓	0 →	4 ↑	4 →	1 ↓	0 ↓	0	0	0	0
突発性発疹	8 ↓	10 ↑	6 ↓	12 ↑	12 →	11 ↓	1	3	3	4
百日咳	1 ↑	1 →	0 ↓	1 ↑	2 ↑	0 ↓	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	5 ↑	21 ↑	65 ↑	117 ↑	199 ↑	191 ↓	43	33	79	36
流行性耳下腺炎	26 ↑	16 ↓	13 ↓	12 ↓	13 ↑	10 ↓	3	5	2	0
インフルエンザ	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	3 ↓	4 ↑	1 ↓	9 ↑	6 ↓	7 ↑	2	0	3	2
その他	22 ↑	6 ↓	3 ↓	7 ↑	5 ↓	8 ↑	3	2	3	0

第30週疾患毎発生状況グラフ



第30週疾患毎発生状況表

第30週	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	インフルエ ンザ	マイコプラ ズマ肺炎	その他
～5ヶ月	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
～11ヶ月	5	0	0	11	0	0	0	6	0	15	0	0	0	0
1歳	0	1	2	7	1	0	0	5	0	36	2	0	0	0
2歳	0	1	3	10	3	1	0	0	0	33	1	0	0	2
3歳	0	0	2	13	1	2	0	0	0	28	0	0	0	0
4歳	0	3	6	11	3	1	0	0	0	26	1	0	0	0
5歳	0	2	6	15	3	1	0	0	0	19	2	0	0	0
6歳	0	0	6	7	2	1	0	0	0	14	1	0	2	0
7歳	0	0	7	13	0	2	0	0	0	5	1	0	1	0
8歳	0	0	2	11	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0
9歳	0	0	0	6	0	1	0	0	0	4	0	0	2	0
10～14歳	0	0	5	8	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0
10～12歳												0		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
20歳以上	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	7	39	117	13	9	0	11	0	191	10	0	7	2

第30週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野
由井事務所